

6.4. 正弦定理・余弦定理の三角形への利用 (2) No1

$\triangle ABC$ において、 $AB = 16$, $BC = 14$, $AC = 12$ とし、頂角 A の二等分線と辺 BC の交点を D とする。このとき、線分 BD , AD の長さを求めよ。

6.4. 正弦定理・余弦定理の三角形への利用 (2) No1 解答

$$BD = 8, AD = 12$$

6.4. 正弦定理・余弦定理の三角形への利用 (2) No2

$\triangle ABC$ において頂角 A の二等分線と辺 BC の交点を D とする。 $AB = 6$, $\angle ABC = 30^\circ$, $\angle ADB = 120^\circ$ とする。このとき、線分 BD , AC の長さを求めよ。

6.4. 正弦定理・余弦定理の三角形への利用 (2) No2 解答

$$BD = 2\sqrt{3}, AC = 3$$